

福音聖書神学校後援会がスタートして約5か月が経過致しました。発足以来、多くのサポーターの皆さまから熱い支援と祈りを頂戴できましたこと、心より感謝を申し上げます。

さて、これまで神学校の情報と言えば、教団協議会の時に教会代表の方々に報告されたものが教会週報などを通じて、皆さまのお手元に届いていたので無いでしょうか。

今後は四半期に一度のペースで「後援会ニュースレター」として皆様に直接、神学校を身近に感じて頂けるよう「旬の出来事」や「過去のお話し」など、様々な情報をお届けできる様に頑張っております。願わくは掲載記事を読んだ皆さまが福音聖書神学校を身近な存在として長期的な支援と祈りの課題に覚えて頂ければ幸いです。

神学校ニュース

- ・ 宣教センター周辺の植栽の継続的な維持・管理を行うために、常任委員会・責任役員会のもとに植栽グループが結成され、7月30日（土）に猛暑の中にもかかわらず、第1回目の作業が行われました。活動は年4回程度で今後も続けられます。



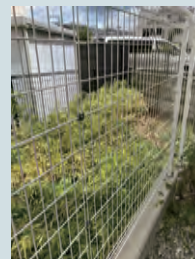
作業前



作業中



作業完



隣接する駐車場の竹藪も伐採しすっきりしました。

- ・ 園芸奉仕にご関心がある方は後援会までご連絡ください。

福音聖書神学校後援会員として

寝屋川キリスト教会 山田 和広

「全世界に出て行きすべての創られたものに福音を宣伝せよ。」

福音を伝える意義は何処にありますか。そのためには「受けるよりも与える」神の愛が重要です。今から約70年前、日本のMB教会は誰によって建てられたのかを覚える時。私がかつて耳にしたのはアメリカの兄弟姉妹の尊い献げ物で、次々と日本のMB教会が誕生したということでした。今般は恵みによって新しい神学校が与えられましたことは、大きな恵みであります。今般は場所的にも阪急の石橋駅前の絶好の場所が与えられました。「神のなさることは、時にかなって美しい」の通りとなりました。そこには敬愛する兄弟姉妹の篤い祈りが在りました。この神学校の建設につきましてもアメリカの信徒の尊い献げものが在りました。このように供えられたものをしっかりと「福音を伝える」ために愛と知恵を尽くして教団全体が一致して取り組まなければなりません。神学校建設と維持のために労して下さった教職のために、心から感謝を申し上げます。現在は、主にあるお一人お一人の信徒の再献身の時であります。



卒業生紹介

「育てられて育てる者へ」

日本バプテスト教会連合・緑キリスト教会
河野 勇一師

75歳を過ぎた私の現在の立場は、名古屋にある日本バプテスト教会連合・緑キリスト教会の宣教牧師（嘱託）です。約2年前に、開拓以来44年続けた主任牧師を退職し、教会での時々の説教と信徒教育を担当しつつ、東海聖書神学塾で教師をしています。与えられた自由時間を依頼された諸教会での奉仕や本の執筆に使い、最近では、『人はどこから来て、どこへ行くのか？—《神のかたち》の人間観』（ヨベル社、2021）の出版に伴って、その継続的オンライン学習会を数グループで行っています。

私は大学卒業後の3年間、民間企業に勤めました。そして、福音聖書神学（EBS）の前身、大阪聖書神学校（OBS）で神学生生活を送ったのは1970～74年の4年間です。MB教団と日本バプテスト宣教団と日本バプテスト教会連合によって設立、運営されていたOBSの最終世代ということになります。

当然、神学校は様々な問題を抱えたさなかでしたのでクラス編成にも混乱がありましたが、それにもかかわらず神学生たちは呑気で、自由さえ味わっていたと思います。組織神学を担当して下さる教師がおられず自分で学ぶことを余儀なくされましたが、かえって一つの主義や教派に基づいた神学支配されずに聖書と取り組んで考えることができました。それが、後に名古屋で東海聖書神学塾を設立し、そこで皮肉にも組織神学を担当する基盤となったことは、主の摂理としか思えません。

教会形成をしながら東海聖書神学塾の運営に携わってきて思うことは、信徒と教職者を育てる神学教育は目立たず地道でありながら、教師など多くの人材や設備を整える費用を要する大事業だということです。もちろん何よりも、教会の中から奉仕者としての召命を受けた人が起こされ、送り出されることがなければ始まりませんが、その一人一人を神の器として整えていくこの事業は、主から教会に託された主要かつ必須の使命です。



OBS 卒業時

献金者一覧 敬称略・順不同

皆様のお祈りと尊いご支援を心より感謝いたします。

MB プラス、杉 義人、中村敬宇・新造、神吉好美、八鍬弘子、紙森優子、大浜尚、井上魏洋、本山いづみ、不破勝美、田畑淳子、黒川 啓・陽子、菊地 巧、具延鎬、金英敏、中平博子、岩村嘉紀、浅川ユリ子、永谷恵子、木下夕美子、坂井礼子、柴田 薫、向 信子、前田千栄子、杉山卓・元美、弥永徳江、松田任弘・十稲、坂東 浩・緑、前田頼子、大山 明

7月～9月



後援会入会案内

ご支援くださる方は、下記の方法で献金をお振り込みください。（金額は任意です。）

1. 郵便振替口座 00930-8-94409
加入者名 日本メノナイトブレザレン教団
※通信欄に「福音聖書神学校後援会献金」と必ずご記載ください。
2. 銀行振込（三井住友銀行）
豊中支店 / 普通 / 7488304
※お手数ですが、三井住友銀行へお振り込み下さる場合は右下に記載しておりますアドレスまでメールでご住所をお知らせ下さい。
3. クレジットカード献金
右記のQRコードからオンラインで決済できます。



編集後記

第2号の発行となりました。これまでの尊いご支援とお祈りを感謝します。

皆様の福音聖書神学校への思いが現され励まされております。神学校の情報発信としても用いられますように。宣教センターの維持管理も含めて守られて来ました。今後も引き続きお祈りとご支援をよろしくお願い致します。

T.K

発行：福音聖書神学校後援会
住所：〒563-0032 大阪府池田市石橋 2-17-10-B MB 宣教センター内
TEL(FAX)：072-761-1397(072-761-8200)
E-MAIL：ebs-supporters@japan-mb.com

福音聖書神学校後援会
ホームページ

